



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 滝沢ハム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2293 URL http://www.takizawaham.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山口 輝 (TEL) 0282-23-5640
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,864	1.2	11	—	43	—	15	—
2020年3月期第2四半期	14,694	△9.1	△82	—	△56	—	△105	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 61百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △83百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	7.51	—
2020年3月期第2四半期	△51.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,093	3,472	26.5
2020年3月期	13,088	3,411	26.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,472百万円 2020年3月期 3,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,900	4.5	90	—	140	—	100	—	48.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	2,102,000株	2020年3月期	2,102,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	48,369株	2020年3月期	48,369株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	2,053,631株	2020年3月期2Q	2,053,677株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症により停滞していた経済活動が徐々に動き出したものの一進一退の情勢であり、依然として厳しい状況が続いております。

当業界におきましては、不要不急の外出自粛やテレワークの推進などから内食需要の高まりが見られたものの、個人所得の減少や雇用環境の悪化から先行き不透明な事業環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは社会的インフラを担う食品製造企業としての役割を果たすため、感染予防対策の徹底を図り商品の安定供給を推進するとともに、集中生産による生産性の向上、品質の安定に努めてまいりました。また、巣ごもり消費に合わせた保存性の高い商品の販売強化を図るなど、ライフスタイルの変化への対応に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、外食業態への売上は減少しましたが、コンビニエンスや量販店への売上が増加したことにより148億64百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

損益面につきましては、コスト削減や売上の増加要因により営業利益11百万円（前年同期82百万円の営業損失）、経常利益43百万円（前年同期56百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益15百万円（前年同期1億5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）の計上となりました。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、外食業態への売上は低調に推移しましたが、コンビニエンスや量販店への生ハムやベーコンの売上が増加いたしました。この結果、この部門の売上高は60億65百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ類の売上が好調に推移いたしました。この結果、この部門の売上高は23億39百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、外食業態への売上は減少しましたが、量販店向けの売上が増加いたしました。この結果、この部門の売上高は64億9百万円（前年同期比0.0%減）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、コロナ禍前の需要に戻るには依然厳しく、外食部門等の売上高は50百万円（前年同期比34.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ5百万円増加し、130億93百万円となりました。これは主に商品及び製品が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ55百万円減少し、96億21百万円となりました。これは主にリース債務が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ61百万円増加し、34億72百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ92百万円減少し、15億19百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、2億41百万円（前年同期比50.5%増）となりました。これは主にたな卸資産の増加がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上及び仕入債務の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、63百万円（前年同期比9.9%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は、2億69百万円（前年同期比49.4%減）となりました。これは主に長期借入金の返済がありましたが、長期借入れによる収入があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、2020年5月22日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,843,487	1,751,355
受取手形及び売掛金	2,844,604	2,769,670
商品及び製品	998,884	1,135,776
仕掛品	170,477	272,825
原材料及び貯蔵品	219,024	240,102
その他	98,684	30,338
貸倒引当金	-	△277
流動資産合計	6,175,163	6,199,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,801,680	1,736,639
機械装置及び運搬具(純額)	249,704	246,133
土地	1,647,004	1,646,870
リース資産(純額)	1,432,433	1,403,820
その他(純額)	136,770	124,073
有形固定資産合計	5,267,593	5,157,538
無形固定資産	111,035	102,283
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323,171	1,405,954
その他	216,189	233,188
貸倒引当金	△5,037	△5,217
投資その他の資産合計	1,534,324	1,633,924
固定資産合計	6,912,952	6,893,746
資産合計	13,088,115	13,093,537

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,380,119	2,578,826
短期借入金	2,809,088	2,794,845
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	436,772	456,899
未払法人税等	37,801	28,312
賞与引当金	109,039	69,537
役員賞与引当金	8,823	-
その他	923,806	817,277
流動負債合計	6,745,450	6,785,697
固定負債		
社債	280,000	260,000
長期借入金	803,400	792,981
リース債務	1,131,896	1,084,811
繰延税金負債	47,557	86,665
役員退職慰労引当金	328	422
執行役員退職慰労引当金	7,944	9,605
退職給付に係る負債	461,090	461,923
その他	199,126	139,106
固定負債合計	2,931,343	2,835,516
負債合計	9,676,793	9,621,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	1,464,465	1,479,890
自己株式	△4,799	△4,799
株主資本合計	3,224,590	3,240,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282,594	338,620
退職給付に係る調整累計額	△95,862	△106,313
その他の包括利益累計額合計	186,731	232,307
純資産合計	3,411,322	3,472,322
負債純資産合計	13,088,115	13,093,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	14,694,475	14,864,030
売上原価	12,131,602	12,358,449
売上総利益	2,562,873	2,505,581
販売費及び一般管理費	2,645,826	2,493,994
営業利益又は営業損失(△)	△82,953	11,586
営業外収益		
受取利息	78	91
受取配当金	16,934	17,366
受取賃貸料	16,508	15,602
補助金収入	3,949	12,589
その他	10,970	10,359
営業外収益合計	48,441	56,010
営業外費用		
支払利息	22,210	22,024
その他	241	2,519
営業外費用合計	22,451	24,543
経常利益又は経常損失(△)	△56,964	43,053
特別利益		
投資有価証券売却益	1	-
受取保険金	-	13,762
特別利益合計	1	13,762
特別損失		
固定資産除却損	12,780	152
減損損失	211	133
訴訟関連費用	7,826	7,199
災害による損失	-	10,366
特別損失合計	20,818	17,852
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77,781	38,963
法人税、住民税及び事業税	15,753	8,560
法人税等調整額	11,495	14,978
法人税等合計	27,249	23,538
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105,030	15,424
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△105,030	15,424

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105,030	15,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,603	56,026
退職給付に係る調整額	5,316	△10,450
その他の包括利益合計	21,920	45,575
四半期包括利益	△83,110	61,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,110	61,000

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77,781	38,963
減価償却費	340,671	351,299
減損損失	211	133
引当金の増減額(△は減少)	△45,825	△46,111
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	975	△9,616
受取利息及び受取配当金	△17,013	△17,458
支払利息	22,210	22,024
固定資産除却損	12,780	152
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	-
受取保険金	-	△13,762
訴訟関連費用	7,826	7,199
災害損失	-	10,366
売上債権の増減額(△は増加)	596,306	74,920
たな卸資産の増減額(△は増加)	△121,051	△260,317
仕入債務の増減額(△は減少)	△223,692	198,706
未払消費税等の増減額(△は減少)	△191,698	△48,393
その他	△120,681	△44,915
小計	183,238	263,190
利息及び配当金の受取額	17,013	17,458
保険金の受取額	-	13,762
訴訟関連費用の支払額	△7,826	△2,127
災害損失の支払額	-	△10,366
利息の支払額	△23,001	△22,074
法人税等の支払額	△9,099	△18,556
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,324	241,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,764	△46,638
固定資産の除却による支出	△4,953	-
無形固定資産の取得による支出	△22,685	△14,800
投資有価証券の取得による支出	△2,525	△2,626
投資有価証券の売却による収入	1	-
貸付けによる支出	△500	△150
貸付金の回収による収入	948	696
その他	△9	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,487	△63,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25,000	25,000
長期借入れによる収入	-	220,000
長期借入金の返済による支出	△291,552	△269,662
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△215,706	△225,141
配当金の支払額	△31,078	△96
その他	△223	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△533,560	△269,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△443,724	△92,141
現金及び現金同等物の期首残高	1,917,788	1,611,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,474,063	1,519,158

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

- (1) 当社は、2018年11月19日にスターゼン株式会社より株式会社シンコウフーズと共同で訴訟の提起を受けました。当該訴訟は、株式会社シンコウフーズが保有する特定加熱食肉製品の製造方法に関する特許権（特許第5192595号）を侵害するとして、同製品の製造・販売等の差し止め及び損害賠償請求を内容とするものであり、東京地方裁判所で係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

- (2) 当社は、2019年9月17日に債務不履行に基づく建物明渡等の訴訟を受けました。当該訴訟は、当社の直売店である「レッケルバルト栃木本店」が賃借している土地建物の一部について明け渡しの請求を受けているもので、宇都宮地方裁判所栃木支部において係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。